

基本方向4 幼児教育の充実のための環境づくり

子供が夢中になって遊べる環境にしましょう

幼児教育は、教育現場はもちろんのこと、家庭や地域社会においても幅広く行われるものであるため、幼児教育の充実に向けて、関係する全ての主体（家庭・地域社会・教育現場・行政）がそれぞれの役割を的確に果たし、連携して取り組むことが必要です。宮城県は、幼児教育に関係する各主体と連携しながら、幼児教育センターを中心として教育現場における幼児教育の内容面の質の向上を図る取組を行うとともに、親の学びや体験活動の機会の提供など多様化する幼児教育へのニーズに応じた環境づくりを進めます。



取組4 親の学びと育ちの支援の充実

子供の成長を
支援する
環境とは？

子供の成長への喜び 親になる前の世代の学び 子育ての悩みや不安への支援
子供の基本的な生活習慣づくりへの支援 家庭生活と仕事の調和 など

親の学びの機会の充実

子供たちの健やかな成長のためには、保護者自身が子供の成長を喜び、ゆとりをもって子育てができる環境が必要です。

教育現場は、保護者が家庭教育の重要性について理解を深められるよう、保護者向けの研修会や親同士の学び合いなど、教育現場の機能や特性を生かした学びの機会を充実させましょう。行政などは、親になる前の世代に対し、将来の子育てを肯定的に捉えられるような学びの機会を提供していきましょう。

生活習慣づくりの支援

子供が望ましい基本的な生活習慣を身に付けるために、親はその意義を理解し、自ら規則正しい生活を送ることが大切です。

教育現場は、保護者会などの機会を活用し、生活習慣づくりの手法について助言を行うなど家庭への支援に努めましょう。また、行政は、NPO・関係団体・企業と連携して基本的な生活習慣の重要性の理解を促すとともに、家庭における基本的な生活習慣の確立を促す取組を通して啓発していきましょう。

家庭生活と仕事の調和

仕事をもつ親がゆとりをもって子育てをするためには、家庭生活と仕事の調和が必要です。

仕事をもつ親が家族との充実した時間を多くもてるよう、地域社会は、家庭生活と仕事の調和の実現に向けて積極的に取り組みましょう。また、行政は、企業などに対する啓発の取組のほか、従業員の子育てへの支援や家庭生活と仕事の両立に積極的に取り組む企業を支援するなどして、働きながら安心して子育てができる環境づくりを推進しましょう。

子育てへの支援

保護者に対する子育ての支援を適切に行うために教育現場の機能や専門性を十分に生かすことが大切です。さらに、子育てに悩みや不安を感じている保護者に対しては、子育て相談や子育てに関する情報の提供を行うなど、各主体が連携して子育ての支援体制を一層充実させることも必要です。

また、宮城県では、保護者が子育てについて学ぶ機会を提供するとともに、子供の基本的な生活習慣の確立に向けて社会全体で取り組むための支援を行います。